



京都府総合見本市会館 令和5年度事業報告 (概要)

令和6年6月

一般財団法人京都府総合見本市会館

事業報告 目次 (骨子)

1. 当期事業活動の概要
2. 事業運営の推移と法人経営の方向
3. 当期事業活動の内容
4. 当期主要事業の実施状況
5. 当期事業活動の実施状況

1 当期事業活動の概要

(1) 概況

【社会経済情勢】

▶ 新型コロナウイルス感染症

イベントに係る開催制限は令和5年5月まで残る

- ・令和4年3月「無観客や開催自粛」から「最大5,000人収容定員の50%」に緩和されたが、令和5年5月までその制限は残る

感染症の取り扱いが5類へ移行

- ・令和5年5月8日、5類感染症へ移行
- ・イベント制限も終了

▶ 世界の情勢

ロシアによるウクライナ侵攻

令和5年10月からの中東での軍事衝突

- ・新たな国際的な緊張関係となって世界経済に大きく影響
- ・原油などエネルギー価格の高騰や原材料価格上昇に拍車

▶ 国内の情勢

エネルギー価格上昇による電気やガスの料金の上昇

原材料価格の高騰による消費者物価の上昇や円安の為替相場

- ・警戒感が続いた。一方、
- ・株価は史上最高値を記録し賃金も上昇
- ・インバウンド需要や輸出も増加
- ・緩やかな回復基調を見せた



1 当期事業活動の概要

(1) 概況

【財団の運営】

- これまでから社会経済情勢の影響を大きく受け、関連の関係で推移

▶ 当期の事業活動状況

収入稼働率は42.9%

- 平成27年度から令和元年度までの「50%前後維持」には及ばない
- 令和4年度の36.8%から回復基調示す結果

事業活動収入については

- 新規や回帰の催事誘致による使用料収入の拡大確保
- 今年度は京都市の物価高騰支援金の獲得など

事業活動支出については

- 業務量に見合った委託料の見直し など

結果

- 令和4年度決算と比較して事業活動収入、事業活動支出ともに拡大
- 収支差額も改善

【財団の経営】

▶ 当期の経営

- これまでから特別な京都府の負担金や運営に係る補助を受けず、独立した自己の収支で、独自性と能率化を図る経営
- 当期もこれを堅持する経営を持続

国内外の社会経済情勢を注視することが重要

- ウクライナ情勢や中東での軍事衝突など国際的な緊張
- 原油や原材料価格の高騰や円安の為替相場
- 賃金や物価の上昇 など

今後の財団運営

- 社会経済情勢と関連の関係にあって、引き続き難しい運営が見込まれる
- 動向を注視し、状況の変化に適時的確に対応しながら、安定した経営を図ることが重要

1 当期事業活動の概要

(1) 概況

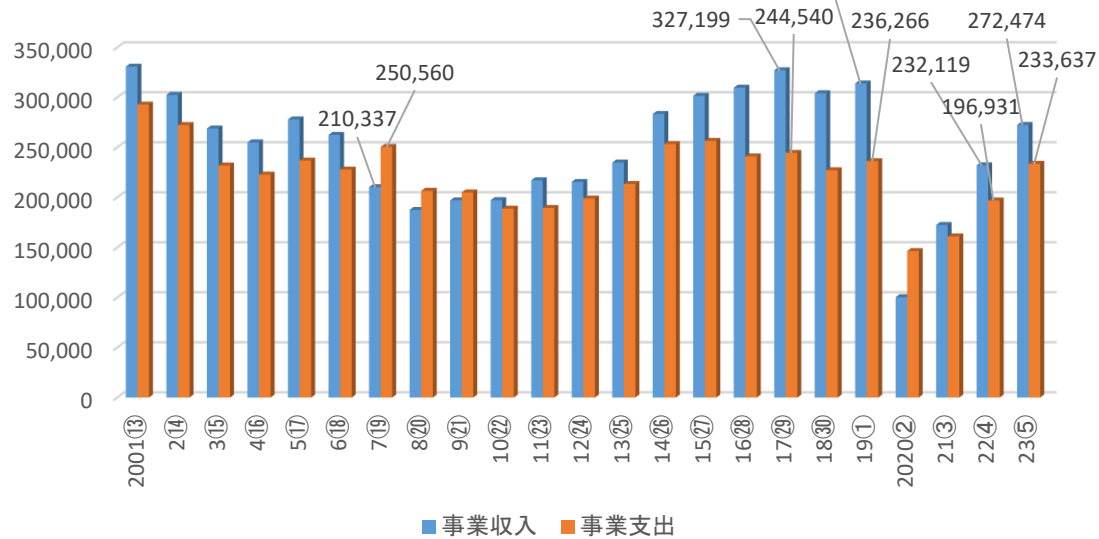
▶事業活動収入・支出 収支差額 収入稼働率（㊿法人化以降）の推移

年度	事業活動収入額		事業活動支出額		収支差額	収入稼働率
	(百万円)	前年度比	(百万円)	前年度比	(百万円)	(%)
5	272.5	117	233.6	119	38.8	42.9
4	232.1	135	196.9	122	35.2	36.8
3	172.5	172	161.1	110	11.4	27.6
2	100.3	32	146.5	62	△ 46.1	14.9
元	313.9	103	236.3	104	77.6	50.9
30	304.2	93	227.2	93	77.0	49.0
29	327.2	106	244.5	101	82.7	53.2
28	309.7	103	241.1	94	68.6	51.0
27	301.6	106	256.5	101	45.1	50.3
26	283.4	121	253.4	119	30.0	46.8
25	234.9	109	213.4	107	21.5	38.9

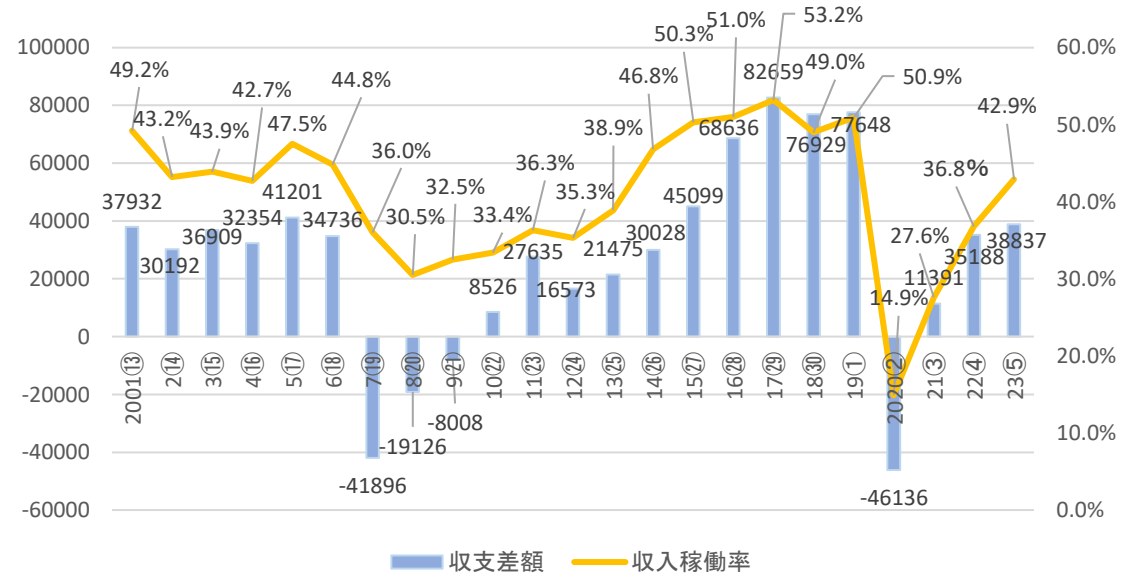
1 当期事業活動の概要

(1) 概況

事業活動収入・事業活動支出の推移(千円)
平成13年度～令和5年度



収入稼働率(%) 収支差額(千円)の推移
平成13年度～令和5年度



1 当期事業活動の概要

(2) 施設の稼働状況

▶稼働状況は

- イベント開催制限が終了したこともあって回復基調
- 使用料収入の大宗を占める展示場の収入稼働率は42.9%
- 前年度の36.8%からは大きく改善
- 平成27年度から令和元年度までの50%前後には及ばない状況

▶当期は

- 新規催事誘致等奨励事業を活用した催事が47件で過去最高
- このインセンティブ事業が収入の増に寄与
- 特徴的な会館利用の例
4年ぶり開催の「入社式」、
厚生労働大臣指定「告示研修」など新たな利用形態が出現
タレントファン交流イベントも10件に回復 など

(3) 事業活動収入

▶事業活動収入は

- 対前年度比117%、40百万円増の約272百万円
- 会場使用料収入が前年度から約28百万円増加
- ▶これまでの「一時支援金」などに替わり、当期は
• 「京都市中小企業等物価高騰対策支援金（3万円）」
を確保

1 当期事業活動の概要

(4) 事業活動支出

▶事業活動支出は

- ・対前年度比119%、37百万円増の約234百万円

▶支出の増は

(委託業務について)

- ・コロナ禍で縮小の警備・設備を通常体制へ
- ・清掃は業務調整を継続して経費の抑制
- ・委託業務が8百万円増

(租税公課について)

- ・繰越欠損金が無くなって法人税等が大きく増
- ・その他税を含め前年度から27百万円増の51百万円に

(5) 公益目的支出計画

▶公益目的支出は

- ・産業・文化の振興に資する事業の執行や、京都産業の振興のための事業への参画・支援
- ・共催・協賛の事業に参画など
- ・公益目的支出計画に沿って17,361千円を執行
- ・令和5年度末の公益目的財産残額の実績は711,850千円
- ・令和5年度末計画値の744,145千円を先行する状況

1 当期事業活動の概要

(6) 当期収支差額及び正味財産期末残高

▶ 当期の収支差額は

- 38,837千円
- 昨年度の35,188千円からやや改善

▶ 指定正味財産（基本財産）及び

一般正味財産（運用財産）については

- 企業会計の「純利益」に相当する
当期一般正味財産増減額は、37,469千円の増
- 結果、令和5年度末の
一般正味財産期末残高は、1,261,775千円
指定正味財産263,770千円と合わせ
正味財産は、1,525,545千円となる



【参考】指定正味財産（基本財産）及び一般正味財産（運用財産）

	令和5年度末A	令和4年度末B	増減額A-B
指定正味財産(a)	263,770千円	263,770千円	0
一般正味財産(b)	1,261,775千円	1,224,306千円	37,469千円
正味財産(a+b)	1,525,545千円	1,488,076千円	37,469千円

2 事業運営の推移と法人経営の方向

(1) 事業運営の推移

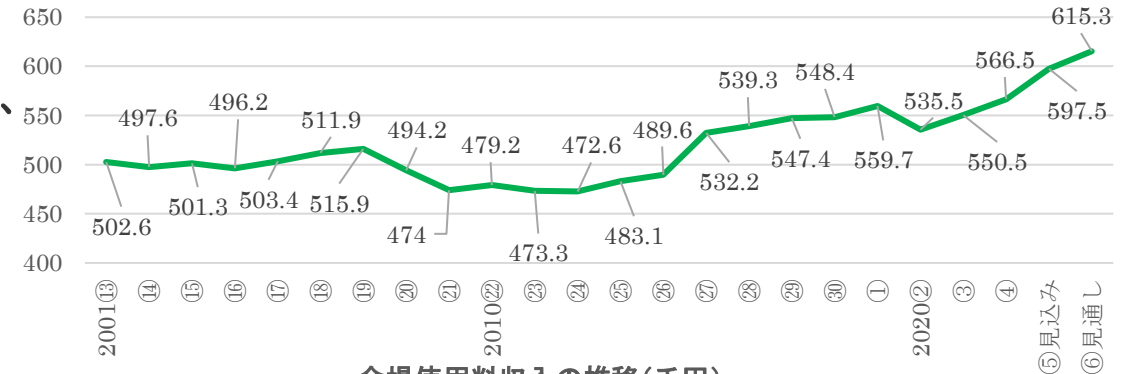
- 平成15年度以降は京都府からの補助金や交付金等も受けず、大規模な展示や会議等の会場として、京都産業の進展に貢献

(2) 法人経営の方向

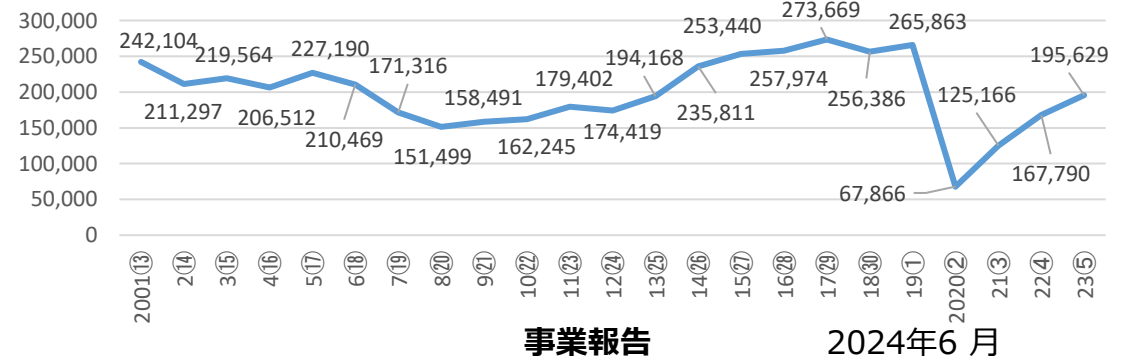
- 当会館の運営は、景気動向、自然災害、感染症の流行など、社会経済情勢の影響を大きく受け、関連の関係で推移
- 平時から有事に備え、運用財産の蓄積など、強固な基盤を持つ法人経営を構築しておくことが極めて重要

【参考】日本のGDPと会館使用料収入の相関関係

国内総生産（名目・実績）の推移（兆円）（2001～2024年度）
政府「経済見通し」令和6年1月26日閣議決定 主要経済指標より



会場使用料収入の推移(千円) 平成13年度～令和5年度



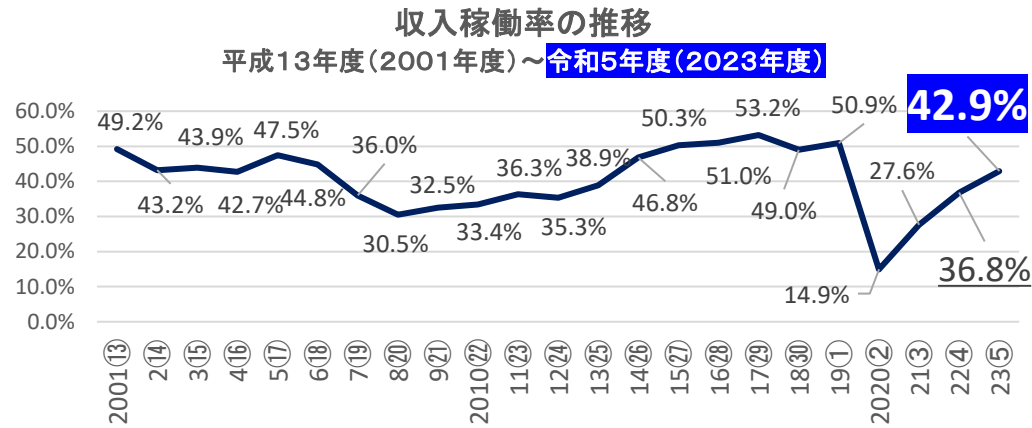
事業報告

2024年6月

3 当期事業活動の内容

(1) 収入稼働率と事業活動収入

① 収入稼働率



・会館施設は、財団から京都府へ提出する5か年の事業計画が審議・検討され、京都府議会の議決を経て、京都府から財団へ無償貸付されている。

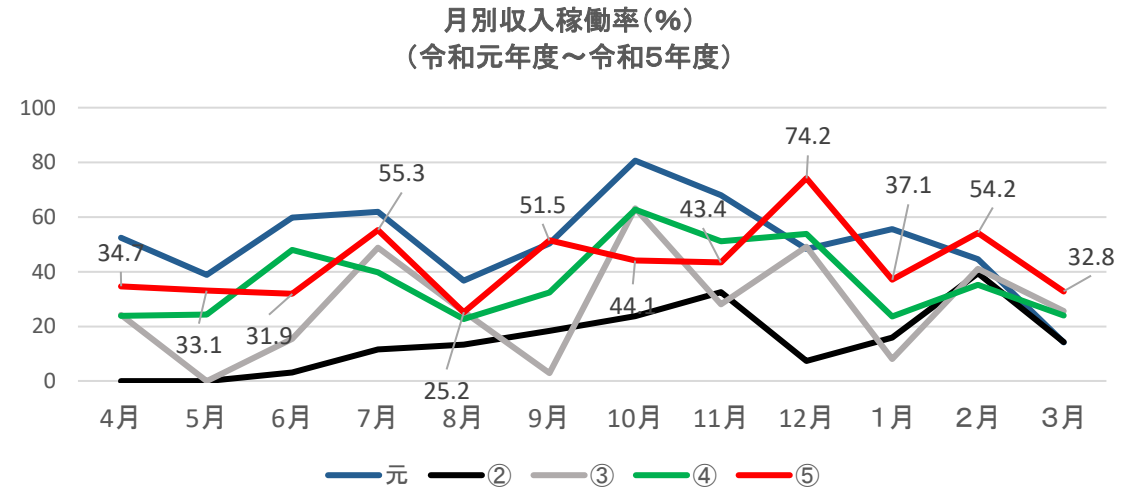
・この間の収入稼働率の状況は、概ね、令和3年10月に提出した「事業計画」の目標値のとおり推移している。

【参考】京都府へ提出「事業計画（令和4年度～令和8年度）」収入稼働率目標値

	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
収入稼働率	35%	42%	47%	50%	50%

【収入稼働率（第1・第2・大展示場の収入稼働率）】

収入稼働率 = 年間展示場使用料収入額 ÷ (1日当たり展示場使用料総額 × 開館日数) ※
() ※印 令和5年度：@1,122千円（消費税込）/日 × 360日 = 403,920千円



3 当期事業活動の内容

(1) 稼働率と事業活動収入

【参考】会場利用の推移 平成25年度（法人化）～令和4年度

年度		H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)
利用件数	(件)	171	195	206	222	244	222	232	71	121	178	223
利用者数	(社)	121	123	136	141	161	147	150	51	85	130	138
会場使用料収入	(千円)	167,237	204,278	218,426	223,169	233,792	217,957	229,885	67,866	125,166	167,790	195,629
展示場使用料収入		149,619	185,144	199,286	201,794	210,419	193,695	203,837	59,926	111,372	148,052	173,201
その他会場使用料		17,618	19,134	19,140	21,375	23,373	24,262	26,048	7,940	13,794	19,738	22,428
備品使用料	(千円)	21,019	25,356	27,919	27,448	32,284	30,526	26,773	6,507	12,860	24,503	25,210
駐車場使用料	(千円)	2,117	2,369	2,464	2,589	2,568	2,420	3,125	725	1,227	1,756	2,175
光熱費・空調使用料	(千円)	31,956	38,793	37,706	40,392	41,406	36,983	36,070	12,328	22,203	27,117	37,009
収入稼働率	(%)	38.9	46.8	50.3	51.0	53.2	49.0	50.9	14.9	27.6	36.8	42.9
日数稼働率	(%)	38.7	42.5	45.9	45.8	47.7	43.5	45.5	14.1	25.5	33.5	39.9
全館来場者数	(人)	501,000	558,000	582,000	603,000	581,000	572,000	621,000	84,000	133,000	200,000	265,000

▶ キャンセルの状況

- 当期は感染症を起因とする利用のキャンセルはなく返金の特例措置は行っていない。

【参考】新型コロナウイルス感染症関連 予約・中止（キャンセル）の状況

	予約 件数	予約総額(A) (千円)	中止 件数	中止総額(B) (千円)	利用 件数	利用総額(A-B) (千円)
4年度	401	230,743	9	8,622	392	222,121
3年度	418	275,017	110	112,975	308	162,042
2年度	484	250,070	183	162,269	301	87,801

「会館の管理規則」

- 「既納の使用料は原則として返還しない」と定め
- 会場使用を中止される利用者に対し、感染症まん延防止への協力的な取組であることを踏まえ、前受金は全て返金の措置

3 当期事業活動の内容

(1) 稼働率と事業活動収入

② 事業活動収入

事業活動収入：272,474千円

(前年度から40,354千円増)

【参考】令和5年度支援金等(3万円)

京都市中小企業等物価高騰対策支援金

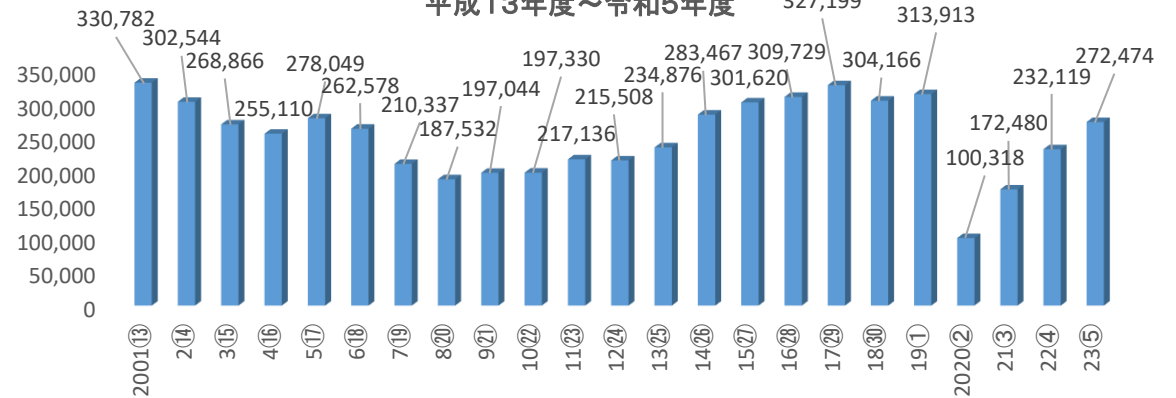
【参考】令和4年度支援金等【15万円】

- 京都市中小企業等総合支援補助金(10万円)
- 京都市中小企業等物価高騰対策支援金(5万円)

【参考】令和3年度政府支援金等【315万円】

- 一時支援金<令和3年1~3月分>60万円(経済産業省)
- 月次支援金80万円(経済産業省)
- 事業復活支援金150万円(経済産業省)
- 中小企業等再起支援補助金15万円(京都市)
- 中小企業等再起支援補助金<応援金>10万円(京都市)

事業活動収入の推移(千円)
平成13年度~令和5年度



【参考】令和2年度政府支援金等【589.4万円】()内数値は補助金上限額

- 持続化給付金 200万円(経済産業省)
- 雇用調整助成金①160.5万円②76.5万円(厚生労働省)
- 休業要請対象事業者支援給付金 20万円(京都府)
- 宿泊施設による感染防止支援等事業補助金 19.5万円(20)(府観光連盟)
- 中小企業等緊急支援補助金 29.1万円(30)(京都市)
- 安心安全なMICE支援補助金83.8万円(100)(京都文化交流コンベンションビューロー)

3 当期事業活動の内容

(2) 事業活動支出と施設管理

① 事業活動支出

事業活動支出：233,637千円

(前年度から36,706千円増)

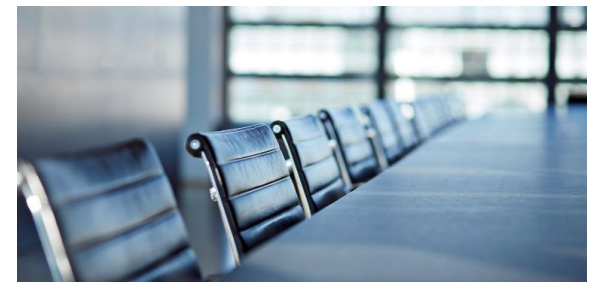
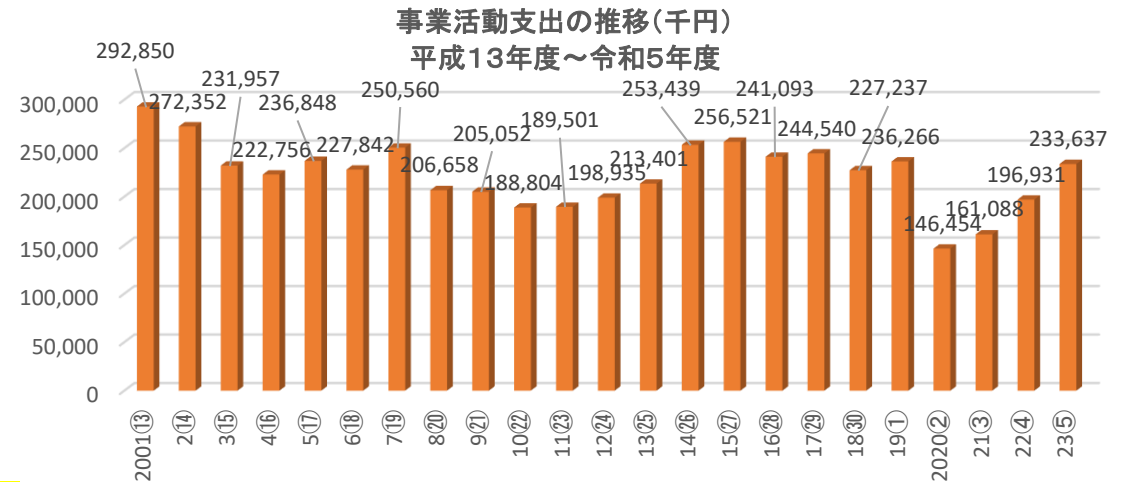
- 事業費→前年度から779千円増
- 管理費→前年度から9,351千円増

人件費→397千円増

光熱水料費→使用量は伸びたが政府の負担軽減策もあって
前年度から1,959千円の減

委託費→警備・設備の業務量をコロナ禍前まで戻し
前年度から8,159千円増

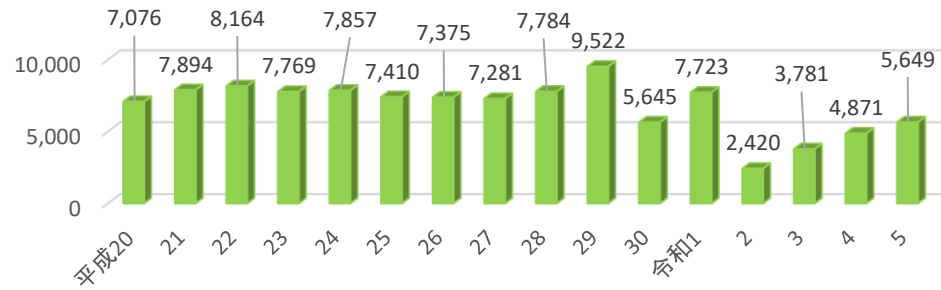
- 租税公課→51,145千円
法人税等など前年度から27百万円増



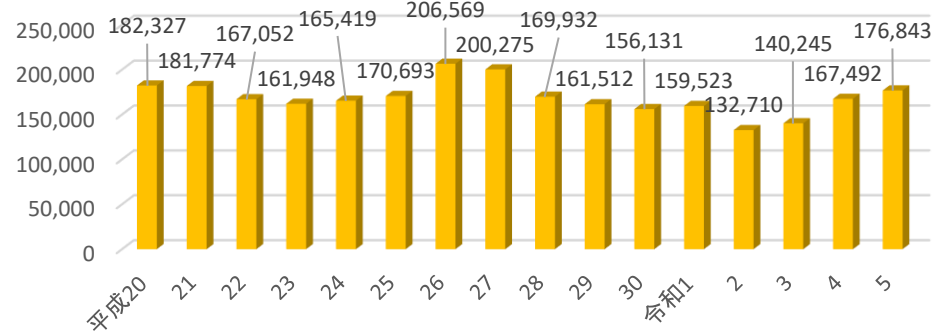
3 当期事業活動の内容

(2) 事業活動支出と施設管理

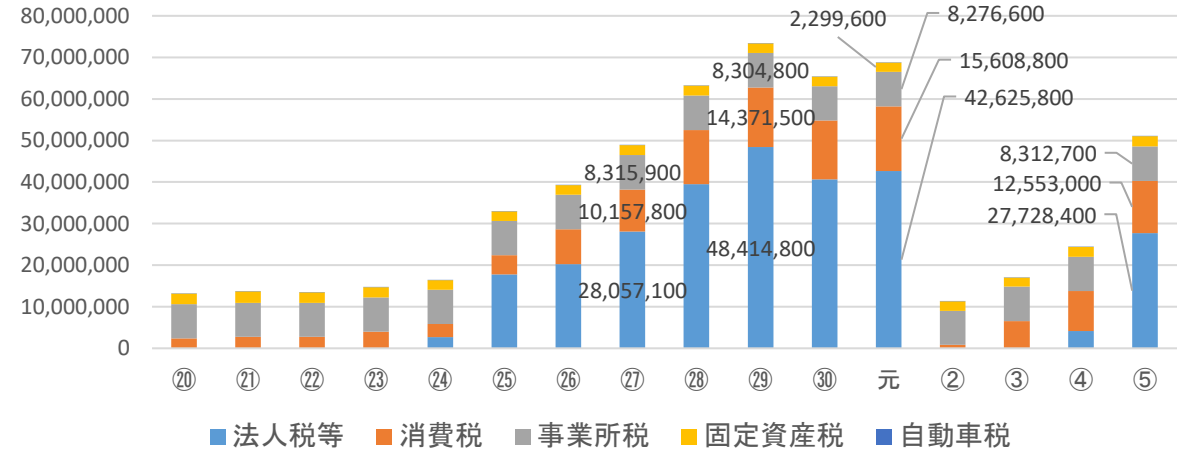
事業費の推移(千円)
平成20年度～令和5年度



管理費の推移(千円)
平成20年度～令和5年度



税額の推移(円)
平成20年度～令和5年度

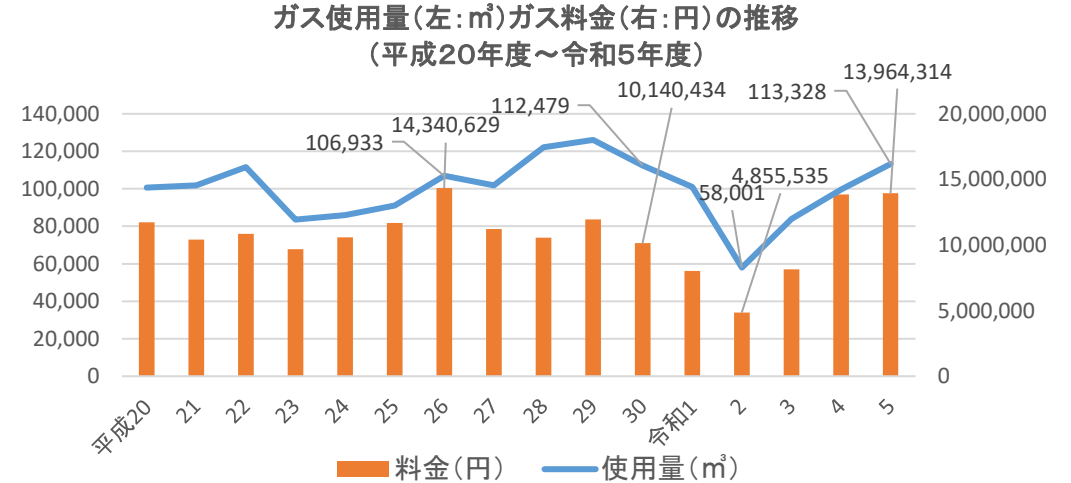
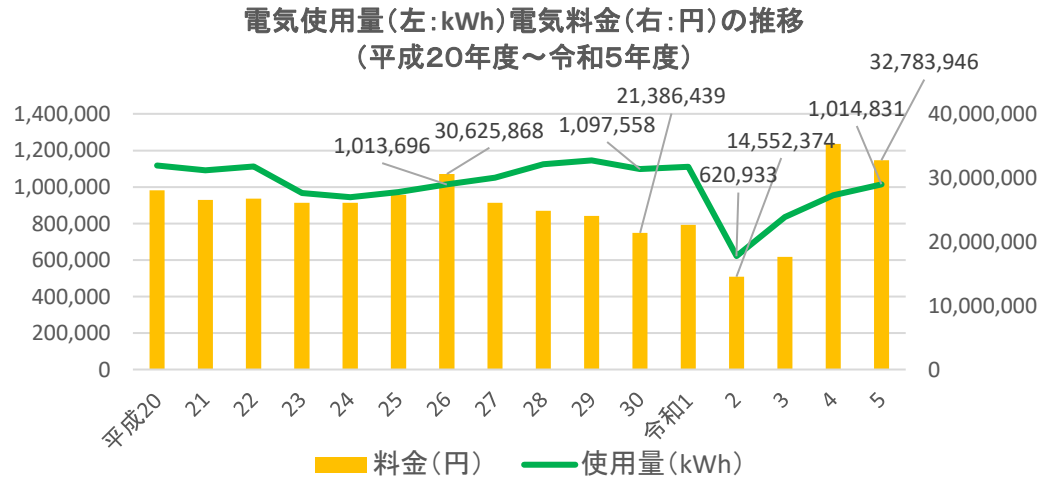


3 当期事業活動の内容

(2) 事業活動支出と施設管理

▶ 光熱費について

- ・近年で使用量が近似する平成30年度と令和5年度を比較
 電気→使用量0.92倍 料金1.53倍(約1,140万円増)
 ガス→使用量1.01倍 料金1.38倍(約382万円増)
- ・エネルギー価格の上昇、新電力の競争入札不参加などで料金の高額化が顕著



注) 電気の使用量・料金は財団所有駐車場等分を含まない
 (㊦駐車場等分使用量: 230.9kWh 料金: 8,890円)

3 当期事業活動の内容

(2) 事業活動支出と施設管理

② 施設管理

【京都府（設置者）】

- 令和4年度から長寿命化に向けた本格的な整備を実施
- エレベーター（4台）長寿命化（61,787千円）
- 中央監視装置サーバー及び自動制御機器更新 など
- 総額67百万円を超える積極的な事業実施

【財団（管理者）】

- 空調設備に係る吸収冷温水機抽気ポンプ可溶栓の交換
- 第1第2展示場排煙設備修理
- 防犯カメラ映像レコーダーの更新 など
- 総額3,825千円の施設管理を実施

【参考】京都府（設置者）による長寿命化等実施状況

【令和4年度施工事業：93,295千円】
エスカレーター長寿命化工事（64,768千円）
電力量計更新工事（24,953千円）
受変電設備VCB修理（1,861千円）

【令和3年度施工事業：4,353千円】
大展示場雨漏り対策工事（2,492千円）
外壁緊急修繕工事（1,861千円）

【令和元年度施工事業：56,847千円】
大展示場吊り天井ボルト等金具補強工事（56,847千円）

【平成30年度施工事業：25,676千円】
大阪北部地震・台風21・24号災害復旧事業（18,790千円）
稲盛ホール吊り天井ボルト等金具補強工事（6,886千円）

3 当期事業活動の内容

(3) 産業・文化の振興と関係機関・地域との連携

③ 産業・文化振興事業

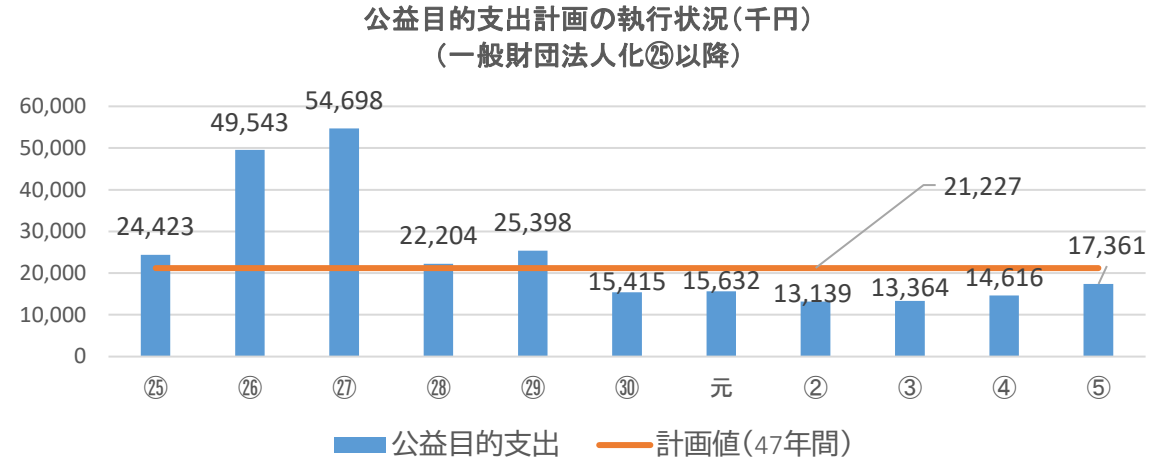
(公益目的支出計画の実施)

公益目的支出の執行：17,361千円

- 公益目的支出計画に沿い
産業・文化の振興に資する事業の実施

▶ 令和5年度末現在の公益目的財産残額

- 実績値712百万円
- 計画値744百万円を先行する進捗状況



【参考】公益目的支出計画

法人が保有する公益目的財産額を公益目的支出によりゼロにする計画
< 京都府総合見本市会館の公益目的支出計画 >

- ・ 公益目的財産額 977.6百万円
(内訳) 流動資産 511百万円 (運用財産)
固定資産 203百万円 (土地等 駐車場)
264百万円 (基本財産)
- ・ 計画年度 2013年4月1日から2060年3月31日まで (47年)
- ・ 公益目的支出計画の執行計画額 毎年度約21百万円程度

3 当期事業活動の内容

(4) 事業活動基盤（運用財産）の確保

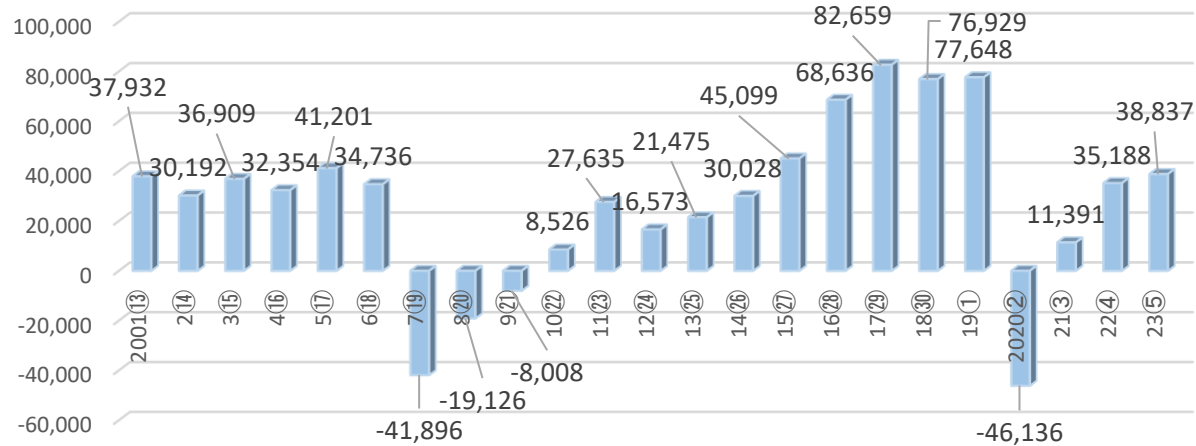
▶ 事業活動収支差額

- 運用財産は事業活動の基盤
- それに繋がる事業活動収支差額の確保は重要

収支差額：38,837千円



収支差額の推移(千円)
平成13年度～令和5年度



3 当期事業活動の内容

(4) 事業活動基盤（運用財産）の確保

【参考】正味財産（基本財産・運用財産）の現況

	令和5年度末A	令和4年度末B	増減額A－B
指定正味財産(a)	263,770千円	263,770千円	0
一般正味財産(b)	1,261,775千円	1,224,306千円	37,469千円
正味財産(a+b)	1,525,545千円	1,488,076千円	37,469千円

▶ 令和5年度末の一般正味財産（運用財産）の内訳

- 現金預金 810,363千円（うち定期預金647,000千円）
- 投資有価証券（府・商工債）260,000千円
- その他資産（駐車場土地 [330,050千円] 建物等 [2,410千円]）332,460千円

※上記に 加算：未収金 3,723千円

減算：流動負債（未払法人税等・未払消費税等・前受金など）107,036千円

固定負債（退職給付引当金・受入保証金など）37,735千円

4 当期主要事業の実施状況

▶ 評議員会・理事会・監事監査の実施

監事監査（令和5年5月25日（木）・京都パルスプラザ）

- ・ 令和4年度事業報告及び決算の審査等

第1回理事会（令和5年6月6日（火）・京都パルスプラザ）

- ・ 第1号議案 事務局長任免の承認について
- ・ 第2号議案 令和4年度事業報告について
- ・ 第3号議案 令和4年度決算について
- ・ 第4号議案 就業規則の一部改正について
- ・ 第5号議案 給与規則の一部改正について
- ・ 第6号議案 定時評議員会の招集及び議案について

定時評議員会（令和5年6月21日（水）・京都パルスプラザ）

- ・ 報告事項 令和4年度事業報告
- ・ 第1号議案 令和4年度決算の件
- ・ 第2号議案 理事の選任の件
- ・ 第3号議案 評議員の選任の件

第2回理事会（令和5年6月21日（水）・書面決議）

- ・ 決議事項 理事長等の選定
理事長（辻 理氏）専務理事（木村 学氏）常務理事（上田敏勝氏）

第3回理事会（令和6年3月11日（月）・京都パルスプラザ）

- ・ 報告事項 令和5年度運営状況（中間報告）
- ・ 第1号議案 令和5年度収支補正予算について
- ・ 第2号議案 令和6年度事業計画について
- ・ 第3号議案 令和6年度収支予算について

5 当期事業活動の実施状況

(1) 展示会場等利用獲得と拡大の取り組み

▶利用者ニーズの把握と満足度調査

令和5年度利用者アンケート結果

(99件中64件64.6%回収)

満足度 → 非常に満足42.2% 満足37.5%

会場選択理由 →

希望の広さ確保44件 駐車場が無料 30件

料金が手頃 27件 希望の日程確保27件

希望の立地 25件 搬出入が便利 24件

知名度がある 18件 交通の便が良い17件

今後利用予定 →

申込済26.6% 仮予約 26.6%

検討中34.4% 予定なし12.5%

▶奨励金制度（インセンティブ事業）を活かした新規や拡大利用獲得は過去最高の47件を記録

- 約39百万円の使用料収入として事業収入増へ寄与

年度		H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)
新規催事誘致等件数		25	25	24	23	26	17	33	10	19	37	47
	大展・大展+	8	9	8	13	12	8	12	4	11	17	22
	1展/2展	17	16	16	10	14	9	21	6	8	20	25
新規催事誘致等奨励による 会場使用料収入	(千円)	19,628	40,756	26,247	38,407	24,547	16,329	47,855	8,228	18,280	30,145	39,972
	大展・大展+	13,434	32,268	17,538	34,693	19,990	13,573	33,390	6,872	16,694	22,546	30,557
	1展/2展	6,194	8,488	8,709	3,714	4,557	2,756	14,465	1,356	1,586	7,599	9,415

【参考】「新規催事誘致等奨励事業」（平成20年度から実施）

- 初めて展示場利用する催事や過去3年以上開催実績のない催事
(奨励金：基本会場使用料の10%還元)
- 利用日数や利用面積の増など利用が拡大した催事
(奨励金：基本会場使用料増額分の5%還元)

5 当期事業活動の実施状況

(2) 効率的な事業運営と施設の適切な管理

▶ 適切な電力・ガス供給事業者との契約

による経費の最適化と安定供給

● 電力供給事業者

関西電力（株）（令和4年10月～）

【参考】 令和元年度：関西電力

令和2年度～令和4年8月：F-bit

● ガス供給事業者

大阪瓦斯（株）（令和5年1月～）

【参考】 平成30年12月まで：大阪ガス

平成31年1月～令和4年12月：関電ガス

▶ 新型コロナウイルスなど感染症対策

抗ウイルス剤塗布施工

大展示場トイレ1・2階 レストラントイレ
第1～6会議室 大展示場商談室内の机・椅子

▶ 施設と利用者の安全を確保する防災等危機管理

第1回自衛消防訓練

通報・初期消火・避難誘導 机上訓練（1/17）

第2回自衛消防訓練

通報・非常放送・初期消火 実行訓練（3/5）

5 当期事業活動の実施状況

(2) 効率的な事業運営と施設の適切な管理

▶ 京都府（設置者）による施設の長寿命化等の実施（総額約67百万円）

- エレベーター（4台）長寿命化工事（61,787千円）
- 中央監視装置サーバー及び自動制御機器更新（5,168千円）など



▶ 財団（管理者）による施設・設備の点検と修繕等の実施（総額約3,825千円）

- 中央監視装置（無停電監視装置）の交換（1,203千円）
- 空調設備に係る吸収冷温水機抽気ポンプの交換（668千円）
- 空調設備に係る吸収冷温水機可溶栓の交換（444千円）
- 空調設備に係る吸収冷温水機フロースイッチ交換（172千円）
- 第1展示場排煙設備修理（718千円）
- 第2展示場排煙設備修理（330千円）
- 防犯カメラ映像レコーダーの更新（154千円） など

5 当期事業活動の実施状況

(3) 産業・文化の振興と関係機関や地域との連携・協力

▶ 産業・文化振興事業（公益目的支出計画） の実施

【自主事業】 『京都パルスプラザコンサート』

- ・ 開催日：令和6年2月25日（日）
- ・ 主 催：京都パルスプラザコンサート実行委員会
（一財）京都府総合見本市会館

目的：地域文化の振興と次代を担う中学生（伏見区）の育成を図る

企業等からの協賛金：楽器運搬等に費消

財団負担：稲盛ホール等無料提供

【令和5年度に中止した共催・協賛事業】

『伏見ふれあいプラザ』 『SKYふれあいフェスティバル』

【共催事業】（負担金支出 計2,400千円）

『京都ものづくりフェア2023』

（財団：特別協賛 負担金800千円）

- ・ 開催日：令和5年11月11日（土）
- ・ 主 催：京都ものづくりフェア実行委員会

（京都府・京都府職業能力開発協会など）

『京都ビジネス交流フェア2024』

（財団：共催 負担金1,600千円）

- ・ 開催日：令和6年2月15日（木）16日（金）
- ・ 主 催：京都府・（公財）京都産業21